

会 議 録

1 会議名

令和元年度第2回安塚区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

1) 協 議（公開）

（1）令和元年度上越市地域活動支援事業（安塚区）の審査について

ア．プレゼンテーション

イ．個人審査（採点）

2) 報 告（公開）

なし

3) その他（公開）

3 開催日時

令和元年5月21日（火）午後6時00分から午後8時00分まで

4 開催場所

安塚区総合事務所3階301会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委 員：池田嘉久、石田ひとみ、數井憲一、國保信夫、小松光代、中島勝義

中村真二、長谷川直樹、秦克博、松苗正二、松野等、山岸重正

・事務局：安塚区総合事務所 市川所長、大橋次長、石川市民生活・福祉グループ長

（併教育・文化グループ長）、村松班長、仮澤主事

8 発言の内容（要旨）

【大橋次長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の

出席を確認、会議の成立を報告

- ・会議録の確認：數井憲一会長

【數井憲一会長】

- ・挨拶

協議事項（１）令和元年度上越市地域活動支援事業（安塚区）の審査について説明を事務局に求める。

【仮澤主事】

令和元年度上越市地域活動支援事業（安塚区）の審査について、資料No. 1-1、1-2に沿って説明。

【數井憲一会長】

何か質問等あるか。

（「なし」の声あり）

それでは、これより提案団体によるプレゼンテーションを開始する。

（安塚トリットボール普及会入室）

【安塚トリットボール普及会】

（安塚区高齢者いきいき支援事業の提案書に基づいて説明）

【池田嘉久委員】

今後事業をどのように続けていくのか。

【安塚トリットボール普及会】

高齢者全員を誘うつもりで事業を続けていきたいと思う。現在は安塚町内会を主として実施しているが、他の自治会や浦川原からも参加や視察に来る方がおられた。安塚だけではなく他の地域にも声を掛けながら参加者を増やしていきたい。

【小松光代委員】

トリットボールとはどういったスポーツなのか。

【安塚トリットボール普及会】

道具はゲートボールと類似しておりスティックやボールを使用する。やり方はゴルフと同じでスタート地点からゴールにあるホールを目がけてボールを打ち、ゴールまでにボールを打った回数を競うといったものである。プレイをしている方に指示や命令をすると罰せられるというルールもある。

【小松光代委員】

頭と身体を使いながら楽しめるスポーツということか。

【安塚トリットボール普及会】

そうである。雨天時や冬季は多目的交流施設、晴天時は安塚小学校のグラウンドを使用させていただいている。

【數井憲一会長】

時間になったので、終了とする。

(安塚トリットボール普及会退室)

それでは、次、安塚スキークラブお願いします。

(安塚スキークラブ入室)

【安塚スキークラブ】

(安塚 jr アルペンスキークラブ育成事業の提案書に基づいて説明)

【長谷川直樹委員】

他の団体もそうであるが、提案書に添付する見積書は税込価格のものを添付していただきたい。

【安塚スキークラブ】

承知した。以後気を付けたい。

【數井憲一会長】

他に質問等ないか。なければ終了とする。

(安塚スキークラブ退室)

それでは、次、安塚商工会お願いします。

(安塚商工会入室)

【安塚商工会】

(雪のふるさと安塚PR事業の提案書に基づいて説明)

【松苗正二委員】

時代の流れに合わせてPRするものが今と昔では変わってきていると思う。その点も精査された上での申請という理解でよいか。

【安塚商工会】

過去にあったもので現在はなくなっているものもある。そういったものも含めて最新

の状態に更新しPRしていこうと考えている。

【松苗正二委員】

補助金の中には協力団体の負担金等は含まれていないか。

【安塚商工会】

協力団体の負担金分は自主財源に含まれており、補助金の中には含まれていない。

【國保信夫委員】

看板を立てる位置はよく精査したのか。

【安塚商工会】

観光看板はとても大きく、立てる位置を変えらるとさらに膨大な資金が必要になる。また、安塚をPRするのに観光看板は現在の位置がPRする上で効果的であると判断し、現在ある場所のものの更新として提案させていただいた。

【石田ひとみ委員】

灯の回廊時に「歓迎」の電飾を施すとあるが、電飾は着脱できるものか。

【安塚商工会】

そうである。

【數井憲一会長】

他に質問等ないか。なければ終了とする。

(安塚商工会退室)

それでは、次、おぐる町内会願います。

(おぐる町内会入室)

【おぐる町内会】

(自主防災資材の整備事業の提案書に基づいて説明)

【山岸重正副会長】

昨年度、地域活動支援事業を活用して整備した防災資機材の中にテントがあったかと思うが、整備した後活用しているのか。

【おぐる町内会】

昨年度の11月に実施した防災訓練時に本部用テントとして活用したほか、炊き出し訓練を行った際にも活用した。今年度も同様の活用を考えているが、地域における災害時に必要なものを整備して防災訓練を実施し、安全・安心を確保するものとして提案さ

せていただいた。

【池田嘉久委員】

昨年度の提案書にもあったが、和田・菅沼町内会との連携とはどのように連携するのか。

【おぐろ町内会】

和田町内会は町内会独自で防災資機材を整備しているが、お互い活用できるものはしようということで町内会長へ話をしている。菅沼町内会は防災資機材をほとんど整備していないので、必要な時には活用いただくよう話をしている。積極的に活用するよう呼びかけてはいないが、必要であればお互い助け合えればと考えている。

【數井憲一会長】

他に質問等ないか。なければ終了とする。

(おぐろ町内会退室)

それでは、次、円平坊自治会お願いします。

(円平坊自治会入室)

【円平坊自治会】

(円平坊防災意識向上事業の提案書に基づいて説明)

【松苗正二委員】

一般的には65Aのホースを使用するが、40Aとなれば消火栓との接続はうまくいくのか。

【円平坊自治会】

消火栓とホースの間にアタッチメントを付けて接続する。

【松苗正二委員】

40Aのホースで初期消火をするということか。

【円平坊自治会】

そうである。

【松苗正二委員】

消防団が来たらどうするのか。

【円平坊自治会】

消防団や消防署が来るまでの初期消火を想定しており、消防団等が到着したら40A

のホースは取り外し、65Aのホースで消火対応していただく。

【松苗正二委員】

子どもでも初期消火ができるといった説明があったが、本当に子どもが初期消火をするわけではないので、誤解を招くような説明はいかがだろうか。

【円平坊自治会】

糸魚川の防災訓練では中学生等の子どももホースを繋ぐなど訓練のお手伝いをしているという記事があった。現在私の集落にも子どもがおり、子どもでもホースを扱えるという意味で説明した。

【松苗正二委員】

積雪時など冬季は器材を近隣宅内に移動するといった説明があったが、その期間のホースの必要性はどうなるのか。格納庫になれば緊急時に対応が遅れるのではないか。

【円平坊自治会】

格納庫からホースを出して消火をするのは消防団にお願いし、冬季は近隣住宅内にホースを保管する。ホースはバッグに入っているので機動力を活かして初期消火に対応する。

【松苗正二委員】

消火栓ハンドルの必要性は何か。

【円平坊自治会】

規定のものは大きくて重いため、ホースと一緒にバッグに入れて持ち運べるよう、軽量タイプのものを選定した。

【長谷川直樹委員】

消火栓を使用してホースを伸ばして消火するというのは初期消火の域を超えているのではないか。また、消防団が消火する際は40Aのホースを取り外してから65Aのホースを繋げるため手間がかかってしまう。また、消火栓ハンドルは既存のもので活用できるのではないか。

【円平坊自治会】

初期消火の捉え方によると思うが、現在私の集落は高齢化が進んでおり、日中消防団がない場合等被害を抑えるために自分達で何ができるかということを考えて上での提案である。消防団や消防隊員が到着すればすぐに消火をお願いし私達は退くつもりであ

る。

【長谷川直樹委員】

ホースを使って消火をするより消火器を使用して初期消火をしていただいた方が安全であるし、高齢者もできるのではないかと。

【円平坊自治会】

消火栓の格納庫等の管理が町内会や地域に任せられている状況もあり、そういった中で地域として何ができるのかを考えて提案させていただいた。これを機会に町内会や自主防災組織でもどういった対応ができるのか、町内会を巻き込んだ取組としたいと考えている。

【數井憲一会長】

確認だが、見積書の中に未検定品というのがあるが問題はないのか。

【円平坊自治会】

糸魚川で整備しているものを参考に見積書を取らせていただいたので、問題はないと思う。

【數井憲一会長】

他に質問等ないか。なければ終了とする。

(円平坊自治会退室)

予定では10分間の休憩であるが、このまま続けてよいか。

(「よい」の声あり)

それでは、次、和田自治会お願いします。

(和田自治会入室)

【和田自治会】

(和田自治会防災用具格納庫整備支援事業の提案書に基づいて説明)

【松苗正二委員】

格納庫は耐雪型ということであるが、荷重はどのくらいか。

【和田自治会】

業者からは1m～1.5mほどであると聞いている。

【松苗正二委員】

それを超える積雪があったら雪掘りをするということか。

【和田自治会】

そうである。

【松苗正二委員】

建物と基礎の部分の緊結はどのように考えているか。

【和田自治会】

ブロックを置くが、間にアンカー等で結合する予定としている。

【松苗正二委員】

風で動く可能性もあるため、緊結はしっかりと考えていただきたい。

【長谷川直樹委員】

設置場所の図面を見ると、消防器具置場が隣にあるが、器具置場からは雪は落ちてこないのか。

【和田自治会】

消防器具置場の雪が落ちる部分に面していないので、雪が落ちてくることはない。

【山岸重正副会長】

格納庫には防災用品以外を入れることはないか。

【和田自治会】

防災用品を入れる用途以外には使用しない。

【數井憲一会長】

他に質問等ないか。なければ終了とする。

(和田自治会退室)

それでは、次、安塚町内会お願いします。

(安塚町内会入室)

【安塚町内会】

(安塚町内会にここに事業の提案書に基づいて説明)

【國保信夫委員】

ここにサロンは他の集落にもある。安塚町内会で高齢者が活用する備品を整備したら、他の集落でも備品を整備したいという声が出るのではないか。

【數井憲一会長】

それは他の集落内で協議することであり、今は安塚町内会の提案について質疑があれ

ばお願いしたい。

他に質問等ないか。なければ終了とする。

(安塚町内会退室)

それでは、次、安塚小学校PTAをお願いします。

(安塚小学校PTA入室)

【安塚小学校PTA】

(安塚雪んこのびのび育成事業の提案書に基づいて説明)

【數井憲一会長】

質問等ないか。なければ終了とする。

(安塚小学校PTA退室)

それでは、次、山のうえの雪まつり実行委員会をお願いします。

(山のうえの雪まつり実行委員会入室)

【山のうえの雪まつり実行委員会】

(山のうえの雪まつり事業の提案書に基づいて説明)

【長谷川直樹委員】

自主財源の部分が非常に多いが協賛金等で資金を集めるのか。

【山のうえの雪まつり実行委員会】

昨年度は協賛金やクラウドファンディングによって資金調達をした。

【長谷川直樹委員】

クラウドファンディングとは何か。

【山のうえの雪まつり実行委員会】

何かをしたいと考える団体がHP上に団体の想いや活動内容を掲載し、それに共感した方から活動内容を達成するのに必要な金額を募るものである。実行者は金額をいただく代わりに、何かで返礼するという仕組みである。

【長谷川直樹委員】

返礼とはどんなものを送るのか。

【山のうえの雪まつり実行委員会】

昨年度は、キューピットバレイのリフト券や雪室で貯蔵した野菜等を返礼させていただいた。

【松苗正二委員】

大きなイベントであり、昨年度も多くの来場があったことから、不測の事態が発生したとき等安全面は考慮されているのか。

【山のうえの雪まつり実行委員会】

イベント保険に加入するほか、交通誘導等をプロに委託することで不測の事態に陥らないよう配慮する。

【小松光代委員】

当初安塚が始めたイベントであるが、安塚だけでなく他の地域でも灯の回廊のイベントを実施するようになっている。手筒花火等新しい取組もあるので、安全面に配慮しながら、地元安塚が盛り上がるよう頑張っていたきたい。

【數井憲一会長】

来年度以降も継続する予定でいるのか。

【山のうえの雪まつり実行委員会】

今年度で30周年になるため、より盛大なイベントにしようと考え提案させていただいた。来年度以降も安塚が盛り上がるよう積極的に取り組んでいきたい。

【數井憲一会長】

他に質問等ないか。なければ終了とする。

(山のうえの雪まつり実行委員会退室)

それでは、今から30分ほど時間をとるので、先ほどのプレゼンテーションを踏まえ、採点票の記入をお願いしたい。

(採点表記入)

【數井憲一会長】

採点票の記入にまだ時間が必要な者はいるか。

(「なし」の声あり)

それでは、事務局に採点票の回収をお願いする。

(採点表回収)

【數井憲一会長】

続いて、4の報告事項について何かあるか。

（「なし」の声あり）

続いて、5のその他だが、次回の地域協議会開催日を確認する。

- ・第3回安塚区地域協議会 令和元年5月23日（木）午後6時から
（地域活動支援事業審査・採択）

他に意見等あるか、なければ閉会とする。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

安塚区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-592-2003（内線23）

E-mail：yasuzuka-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。